

広 報

# さか かい

今日から持とう。  
「もしも」への  
「備え」と「意識」。

- ☑ お水
- ☑ ビスケット
- ☑ 缶詰
- ☑ 救急用品
- ☑ ヘルメット
- ☑ 軍手
- ☑ 着替え
- ☑ 毛布
- ☑ 懐中電灯と電池
- ☑ ラジオ
- ☑ 使い捨てカイロ
- ☑ ウエットティッシュ
- ☑ お金と印鑑
- ⋮
- ☑ 負けない気持ち
- ☑ 助け合いの心

よし!

…あと、チョコも  
入れとこ。

非常持

氏名	さかいたろう
住所	さかいし
緊急連絡先	0776



## CONTENTS

あの日に学ぶ …… 2  
—「忘災」にしないために—

災害が起ると、それまでの生活は一転する。東日本大震災の発生直後から被災地に入り、さまざまな支援活動を行ってきた人たちに、被災直後の様子など聞いた。

6月 岩手県大槌町で傷と心のケア

Kanakako Suehiro



被災者同士で支えあう現実 言葉がけや傾聴が大事

末廣 加奈子さん (市立三国病院 看護師)

海に浸かってしまった施設を仮診療所として開くために泥を掃いたのは、地元の被災者。医療器具は、被害の少なかった病院から寄せ集めた貴重なものでした。医療スタッフも被災者に変わりないのに、周囲には常に笑顔でした。診療所を訪れる人は、転んだだけでも極度の不安になるなど、疲労からくるストレスや疾病を訴える人が多くいました。診察や処置をしなくても、声を掛け合ったり話を聴いたりすることが大きな心の支えになっていると感じました。



機能を失い、廃墟と化した岩手県立大槌病院

4月 宮城県山元町で健康管理

Kumiko Sensyu



長引く避難所生活でこそ 運営方法と心のケアが課題

千秋 久美子さん (市健康長寿課 保健師)

避難所生活は落ち着いた頃でしたが、家族や友人との別れがなかなか受け入れられず、孤独を抱え悩む人が多くいました。また、施設内の感染予防のため衛生用品を十分に使ったのですが、物資の山がそこにあっても使えない状態でした。手配する人がいなかったからです。非常時は、人命が最優先。そのために誰がどう動くか、地域や自主防災組織、避難所の運営でも、具体的な役割と人員配置を、普段から決めておいた方がいいと感じました。



避難中に受けた打撲の手当てをする千秋さん

3月 岩手県陸前高田市で救出活動

Otokazu Kita



日常の訓練ととっさの判断が 生死を分けたと実感した

北 乙和さん (嶺北消防本部消防課 参事)

震災翌日からこれまでに延べ38人の隊員が、現地で救助支援を行いました。現場慣れしている私たちでも、何から手をつけたらいいか戸惑うほどの惨事でした。陸前高田は、頻りに「津波注意」の無線が流れる地域。慢心があつて逃げ遅れた、車で逃げたことで寸断された道路で立ち往生する間に波にのまれた、という人も多く、地域の「きまりごと」を知っているかどうか、日ごろの訓練ととっさの判断ができていたかどうかが生死を分けていると実感しました。



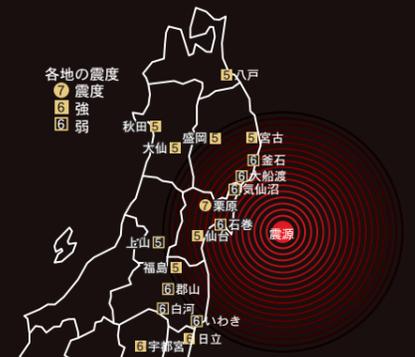
気が遠くなるような救出・救助活動



特集

あの日に学ぶ 「忘災」にしないために

地震発生から3日後の岩手県陸前高田市



【東日本大震災】 平成23年3月11日14時46分、三陸沖を震源に発生した東北地方太平洋沖地震と大津波による大震災。警察庁がまとめた死者数は9月30日現在で15,815人、届出があった行方不明者数は3,966人。

東日本大震災は、巨大地震と大津波が一瞬のうちに2万人もの死者・行方不明者を出した。避難を余儀なくされた人たちは、大きな不安と苛酷な生活を強いられた。 8月下旬に発生した台風12号。それに伴う豪雨で、紀伊半島などで死者・行方不明者は90人を超えた。さらに、直後に発生した台風15号では、雨に弱い都市部を中心に大打撃を受けた。今、日本中が自然災害にあえいでいる。 本市は、戦後復興間もない福井県を直撃し、甚大な被害をもたらした福井地震の震源地だ。嶺北地方を襲った福井豪雨(平成16年)も記憶に新しい。 頻発する災害で、防災の意義や認識が問いただされている。「忘災」にしないために、私たちは、何をすべきなのだろうか。

時間の経過とともに、生活のリズムは戻っていく。しかし、心に受けた衝撃はすぐには癒えない。覆された「想定」という概念。 災害に直面したとき、何が生きる支え、心の支えになるのだろうか。命を守り抜くために、私たちは普段から、どんなことを意識すべきなのだろうか。



▲福井地震による火災で焼け野原となった、丸岡町の市街地。一面のがれきが、東日本大震災被災地のそれと重なる



【福井地震】 昭和23年6月28日16時13分、現坂井市丸岡町付近を震源に発生した。死者・行方不明者は3,769人。

かつて本市を襲った 3度の大地震 福井地震は、震源が極めて浅い直下型の内陸地震だったこと、福井平野が九頭竜川沖積層で地盤が弱かったことから、平野部では家屋の全壊率は約60%。中でも坂井郡丸岡町、磯部村、春江町など、町村部での倒壊率は100%だった。 発生時刻が夕食の支度の始まる時間帯だったため、台所からの出火などにより、地震直後に1市20町村で火災が発生。鎮火するまでに約5日間を要し、福井市の中心部を中心に2,407戸が焼失した。 さらに1カ月後、2日間にわたり豪雨に見舞われた。山間部で200ミリ、平野部で130ミリの雨が、地震で強度が弱まった堤防を決壊。2万8,800戸の家屋が流失・浸水した。 本市は、戦災、地震、そして水害と、数年の間に3度の大地震に遭うこととなった。

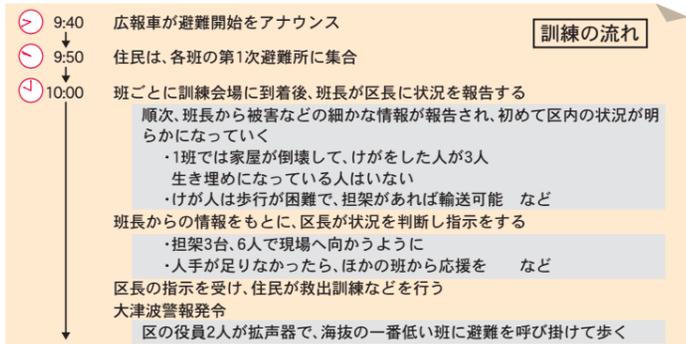
震災は、災害そのものや備えに対する従来の認識を変えた。各地域で行われる防災訓練に、従来にはあまりなかった取り組みが見られている。



①班長から被災状況報告を受け、指示を出す谷根さん(左)②「水かさが増え、崖が崩落する危険」という状況で指示された土のう積み体験する人たち③倒壊家屋から救出した負傷者を、本番さながらに担架で運ぶ人たち④「どこで何が起きているのか」。各班長からも情報をもとに、地図にまとめる自主防災組織の首脳陣⑤各班に指示した内容を細かに記した対策本部内のボード

# シナリオを明かさずに訓練を実施

## 三国町温泉区 自主防災組織を中心に住民総出



「6月5日午前9時35分、三国沖を震源とするマグニチュード7.5の地震が発生、三国町で震度6強を観測した。町内の各地区で断水。電柱が倒れ、全域で停電、電話も不通。市役所三国総合支所周辺は液状化。区はただちに対策本部を設置し、区民の避難と負傷者の救出に当たる。午前10時に大津波警報が発令」。

これが、訓練終了まで区民に明かさなかったシナリオだ。

三国町温泉区は、3年前に自主防災組織を立ち上げた。翌年から毎年、防災訓練を行っている。

「予期せぬ災害に臨機応変な判断と行動ができるよう、三国消防署に協力をお願いし、ブラインド型のお訓練を提案した」と、区長の谷根英一さん。当日は合図とともに、11ある班ごとにまとまって訓練会場ま

で避難。「倒壊家屋の下敷きになった負傷者がいる」「火災が発生している」など、班ごとに被害状況を書いたメモが封をしたまま区長に渡されると、区長はその場で開封し、状況を確認する。そして対応策を判断し、班長に指示。それを受け、区民が負傷者の救出や応急手当、初期消火などの対応訓練を行った。

訓練を通して課題が見える経験を備えに

訓練後、「本当に冷静になれるかどうか不安だ」と誰もが口をそろえた。訓練の目的は、何ができて、何ができないのかを体験することだ。災害時は、全てが同時進行。マニュアルを読んでいる時間もなければ、その場に誰がいるかも、どんな状況かも分からない。確かなのは「体験するから身につく」ということだ。訓練を繰り返して、体で覚え込むことが備えになる。

危機を回避し、自らの命を守り生き残るために、私たちは何を考え、どう行動したらいいのだろうか。被災地の実際をよく知る「NPO法人ふくい災害ボランティアネット」代表の東角操さんに聞いた。



NPO法人ふくい災害ボランティアネット 代表 東角 操さん

震災後いち早く若手県陸前高田市に向き、県民ボランティアが活動できるよう行政やボランティアセンターなどの調整役を務めた。丸岡町女形谷。

## 助け合いの意識をまずは自分そして家庭・地域へ

「これまで行政主導で防災対策を行ってきた、ある程度の安全は確保されてきました。危険な状態になれば、行政から避難勧告が出されます。でも、こうした行政の防災対策上の想定に基づいた受け身の行動にとらわれすぎると、自分で自分の身を守るという対応力がなくなります。「勧告がなかったから逃げなかった」「防災は誰かがやってくれる」では間に合わないのです。

**人と人とのかわり 地域の絆が命の分岐点**

災害が起きると、行政が機能するまでに、最低3日(72時間)かかるというわが国は、電気もない、水もない、食料もない。何もなしで、私たちはその「空白の時間」を自分で生き延びなければならぬ。空白の時間は、災害が大きければ大きいほど、また、広域になればなるほど長くなります。避難所生活もそうです。

通常、避難所は行政が設置することになっています。でも、行政機能が完全に失われた状況下では、即座に設置することは無理に等しい。実際に被災地でも、てんでバラバラいろいろな地区から逃げ込んだ人たちが、そこを避難所

に「してしまおう」ところも多かったようです。

現地では、自主防災組織や消防団が活躍していました。子どもや女性、高齢者や障がい者の避難などをカバーする体制が、しっかりと機能していました。救出活動のために命を落とした団員も多くいたことは間違いありません。でも、その組織のおかげで、避難所の運営や生活の復旧がスピーディーでした。寄せ集めの避難所で、時間の経過とともにニーズも変わる中、助け合うことをその組織が率先してやる。極限状態でありながら「リーダーは誰」「お年寄りや子どものケアは誰」「水当番は誰」など、役割分担と一緒に「ご近所づきあい」のような関係が築かれていきました。

**誰なら守れるのかー 訓練と教育こそ最強の対策**

今回の震災では、最先端の技術を駆使した日本の防災対策も、自然の猛威から尊い人命を守り切ることはできませんでした。

人は、自分の安全を過信してしまいます。

これまでは行政主導で防災対策を行ってきた、ある程度の安全は確保されてきました。危険な状態になれば、行政から避難勧告が出されます。でも、こうした行政の防災対策上の想定に基づいた受け身の行動にとらわれすぎると、自分で自分の身を守るという対応力がなくなります。「勧告がなかったから逃げなかった」「防災は誰かがやってくれる」では間に合わないのです。

では、自分の命は誰が守れるのか。それは、ほかならぬ自分自身です。自分の命をどう守り抜くか、日ごろからどのように備えるか、災害に対して正しく向き合う姿勢を持たなければいけません。

今一度「避難」の重要性を再確認することが大事です。

例えば、災害発生後、地域内での安否確認から避難完了、市長に状況報告するまでを1時間以内にできるかどうか。訓練で経験していないと、いざというときは行動できません。市街地や農村部など、地域によって確認事項など状況も違うでしょう。もちろん、避難生活や物資の調達など、避難後の対応についても訓練が不可欠です。

また、継続的な防災教育も必要です。例えば、家族で避難所や避難経路を確認したり、非常持出品を備えたりすることは、必要不可欠です。

「進災」を食い止めること。  
「身災」から逃れること。  
「心災」から守ること。  
その追い風になるのは、人と人の心の結び付きだ。



災害は想定し切れない。しかし、日々の小さなことの積み重ねが、強い覚悟と揺るぎない地域の絆を築く。それが命をつなぐ鍵になる。

【日】本はもともと災害の多い国だ。四季を通して自然から恩恵を受ける一方で、自然の猛威とは常に背中合わせ。足元にはプレートがひしめき合い、何本もの断層が走る。いつ災害が起きてもおかしくない―私たちは、そういうところに暮らしている。巨大地震とその翌日に起きた原発事故、それによる電力不足で私たちはエネルギー消費の無駄を省く行動を迫られた。あらためて自然に対する無力さ、災害に対応できるだけの行動と備えを持つことの大切さを思い知らされた。震災は私たちの価値観を変えた。これからは「備えを習慣にした暮らし方」が求められるのではないだろうか。

一瞬の判断を左右するのは命を守るルールと危機意識

【何】メートルの津波だから大丈夫と思わないこと。油断していた人が逃げずに、津波に巻き込まれた。津波を甘く見ないで。『つなみ』という被災地の子どもの作文集に、こう綴られていた。

東北三陸地方に伝わる「津波でんでんこ」。地震が起きたら誰に構うことなく高台へ逃げろという、究極の「自助」の教えだ。自分、そして家族や地域ごとに避難するという一般的なルールとは、どこか矛盾も感じてしまう。人には思いやりの心がある。津波被害の多い地方では、あえて人の心のありように反する、簡単にはできない行動「津波でんでんこ」の辛い教えを伝えることで、自分の命を守る厳しさに向き合ってきたのではないだろうか。命を守ることが最優先。それはもちろん津波に限ったことではない。

心の防波堤はより高く 危機意識を地域で共有

【被】害を少なくするために、災害に遭った後生き抜くために、災害前には何が必要なのか。支援活動などを通して被災地の現状を見た人々から共通して聞かれたのは、やはり「日ごろの訓練」「意識づくり」「人や地域の絆」という言葉だ。

【今】この瞬間に災害が起きたら―。発生の瞬間、自宅にいる

とは限らない。職場、学校、車や電車で移動中かもしれない。そのとき、自分はどう行動すべきか。家族が離ればなれになっているときならどうするか。さまざまなケースを考え、避難場所や連絡方法など、家族で話し合う機会を必ず持つてほしい。

地域の实情にあった災害対策や連携方法も確認してほしい

【地】域の实情にあった災害対策や連携方法も確認してほしい。前出の温泉区長・谷根さんはこう話す。今年、三国町では区長会連合会の呼び掛けで、小学校ごと「避難所運営マニュアル」を作る。うちの区は三国北小学校下。対象住民3,500人が、空白の時間を地域の助け合いだけで生き延びるための指針になる。避難所を開設したときの役割分担、物資の調達、避難生活のシミュレーションなど、校区単位で避難所運営訓練もおこななければ。

春 江西部地区まちづくり協議会では11月に、春江西小学校下の住民を対象に避難所運営のワークショップや避難生活体験合宿などを行う。

同じく大石地区まちづくり協議会では、日ごろの備えや地区の避難所、避難時の注意点を一冊にまとめた「携帯用防災ノート」を、地区内に配布している。命をつなぎとめた後は、地域での支えあいが生きる柱になる。市内では、まちづくり協議会や自主防災組織などを中心に「共助」の意識が育っている。

人を支え、救えるのは人 地域の絆を今こそ大切に

【市】の避難マニュアルでは、市内の小・中学校などを避難施設に指定している。現在最優先で進めている小・中学校校舎の耐震化は、27年度までに完了する。また、今年中に津波ハザードマップを作成する。今後、防災計画も見直す予定だ。各地域では自主防災組織の設置も進んでいる。でも、どんなに綿密な計画や組織、十分な設備も、防災対策の一つでしかない。人を支え、人を救うのは人だ。家族、そして子どもたちへ、備える習慣と危機感を伝えよう。人を支え、まちを知り、この国に長く受け継がれてきた地域の絆―向こう三軒両隣の信頼関係「今こそ万全にしよう。それが、想定外にも屈しない強いまちをつくる基盤になるはずだから。」

「あの日で失ったたくさんの命を忘れずに、自分の明日に向かって頑張る」「たくさんのことを考え、わかったことがある。人は支えあい、協力することが大切だということ。当たり前のごとくすごい奇跡だということ。生きているということ」。『つなみ』に綴られた、子どもたちの真っ直ぐな言葉に教えられることは多い。明日へ―東尋坊の夕日が、感謝と希望の光をつなぐ。この穏やかな景色が、ずっとずっと続きますように。

【参考】『つなみ 被災地の子ども80人の作文集』(文藝春秋)から、三東香織さん(気仙沼中学校2年)、永山晶尊さん(宮城県農業高校1年)、斉藤日向子さん(気仙沼中学校2年)の言葉を一部引用

「きちんと終わる訓練は、訓練じゃない」。あえて想定を非公開にし、場当たりの状態での訓練を企画した温泉区。今回の訓練で何を感じたのか、参加した人たちに聞いた。

班長として住民を誘導

Miyoji Iwai



全員の把握に苦労した 今後は要援護者の避難支援も 岩井 三代治さん (三国町温泉区第7班 班長)

各班で避難するとき「誰がいないか」の把握が大変でした。訓練会場に集まってしまうと、誰が自分の班の人なのか、顔が分からない人もいました。世帯の名簿は区でも持っている人が限られていますが、住民をまとめたり助け合ったりする上で、せめてそれぞれの世帯の家族構成、年齢、性別、血液型、健康状態などの情報が欲しいと思いました。実際の災害では、血液型や持病が分からないと、医者がいても手当ができないときがあるからです。各家庭の非常持出袋の中に「家族データ」を書いたものを入れておくといいと思いました。次回は、要援護者を救出しながらの避難を確認したいです。人を抱える重さを知っておくのも、大事なことです。

負傷者の救出訓練に参加

Kenji Matsuda



救出訓練とはいえ ジャッキを持つ手が震えた 松田 憲治さん (三国町温泉区 副区長)

壊れた家屋をジャッキで押し上げて、下にいる人形を救出したのですが、訓練なのにジャッキを持つ手が震えました。実際の災害現場だったら、と思うと本当に恐ろしいです。普段から、地域で備蓄している資機材の種類や使い方をきちんと知っておくこと、いかに慣れておくかが大事だと思いました。また、今回の訓練では、消火栓のホースを持つ手の力加減が分からなくて、水圧で飛ばされそうになった男性がいました。訓練に安易な気持ちで臨むのではなく、気を引き締めて参加することも大事です。一度でも訓練でそういう(飛ばされそうになった)経験をしておくと、次からはきちんと構えて臨めます。災害への備えは、その積み重ねなんでしょうね。

区長として住民を統率

Hidekazu Yane



状況に応じた判断と指示の 難しさを実感した 谷根 英一さん (三国町温泉区 区長)

訓練用の広報車が災害発生を知らせ、対策本部を立ち上げた時点でも、状況は一つも分からない。住民の避難が始まり、本部で情報開示されるたび、徐々に各班の被害などが明らかになっていく。実際の災害のような緊張感でした。「〇班の負傷者救出は、6人で担架3台を」「倒壊家屋現場には5人で、ジャッキとバールを持って」と、臨機応変に判断し、指示するにも勇気がいりました。また、訓練会場を高台に設けたのですが、温泉区は海拔の高低差が大きく、集団で会場に到着するまでに30分近く要した班もありました。全区民がいち早く、安全に避難できる体制を考えなければならぬと感じました。今後、避難所運営訓練も取り入れたいですね。



▲地震ハザードマップ(右)、洪水・土砂ハザードマップ(左)、避難マニュアル(奥)。今年中に「津波ハザードマップ」を作成します。ぜひ、家族で確認を。◎安全対策室☎50-3525

▼いち早く緊急情報を周知するための防災無線。唯一未整備だった三国町内に、23・24年度で整備します。



米ヶ脇区では要援護者避難訓練



三国町米ヶ脇区では6月に「要援護者を避難させる訓練」を実施。いつもは参加できない一人暮らしのお年寄りなども顔を見せた。

◀民生委員や班長が、一人暮らしのお年寄りを介介しながら避難経路などを確認

◀訓練会場に「避難」してきた住民を、顔と名簿を見ながら点呼

【災害時要援護者支援制度】介護の必要な人や一人暮らしの高齢者、障がいのある人などの体の具合や居住地を地域で把握。安否確認や避難支援など、災害時にすみやかに協力しあえるよう、事前に登録するもの。市内では、対象者9,305人のうち3,790人が登録(23年5月1日現在)。一人でも多くの登録をお願いします。◎社会福祉課☎50-3041

**秋** 季合宿の同大応援団  
集大成の演舞演奏を披露 9月10日(土)

秋季合宿を市内で行っていた同志社大学応援団が、坂井体育館で合宿の成果を披露しました。同団は、市が本年度創設した「学生合宿支援事業」を利用し、5日間滞在していました。会場では坂井中学校吹奏楽部員や、団員が宿泊していた施設の関係者など約100人が見学。集大成の演技に「すごい迫力。見てだけでワクワクした」と興奮気味に話していました。



▲団長(中央)を先頭に、総勢120人の団員が力強い演舞演奏を披露



▲熱心に耳を傾ける参加者

**最** 後まで我が家で暮らしたい  
在宅ケアの住民集会 9月4日(日)

「在宅ケアを考える住民集会」が三国社会福祉センターで開かれました。東京大学高齢社会総合研究機構と県、市が主催し、お年寄りを在宅で看護や介護している家族など約130人が参加。医師や坂井市地域包括支援センター、坂井地区医師会坂井在宅ケアネットの職員らが、本人や家族が満足していく最期を過ごした在宅ケアの事例などを紹介しました。



▲俳優が歌う劇中歌に合わせ、自由に体を動かすワークショップ参加者

**思** い思いに体を動かし  
表現の楽しさを実感 9月11日(日)

総合劇集団・俳優館による、子猫と魚の友情を描いたミュージカル「ねこはしる」のワークショップが、みくに文化未来館で行われました。小学生や高校生など約30人が参加。俳優から腹式呼吸や発声方法を教わり、劇中で山バト役が歌う「デッポッポウデッポ」に合わせて跳びはねるなどして、参加者は表現の楽しさを存分に味わっていました。

**不** 測の事態に備えて  
「市民救命士」を委嘱 9月2日(金)

嶺北消防署は普通救命講習会と「市民救命士」の委嘱式を県児童科学館で行いました。同館の職員16人が参加し、AEDの使用方法や心肺蘇生法などを習得。業務中の急病人やけが人に応急手当を行う「市民救命士」としての認定を受け、同館の孝久幸一館長は「学んだことを常に意識し、緊急時にもスムーズに対応したい」と話していました。



▲来館者が急に倒れた場合の対処法を消防署員から学ぶ職員



▲市長の祝福に笑顔で応じる正藤さん

**元** 気で長生きを  
市長が長寿を祝う 9月2日(金)  
・5日(月)

数え年で今年100歳を迎える市内36人のうち、19人のお宅を市長が訪問し長寿を祝いました。正藤かずゑさん宅(春江町江留上緑)では、市長が「いつまでもお元気でいてください」と声を掛け、祝い状と記念品を贈呈。正藤さんは「三食しっかりと食べることで、年を取ってから体が強くなった。家族のおかげもあり幸せです」と笑顔で話していました。

**子** どもが描いた“ふるさと坂井”  
特別賞10点を表彰 9月24日(土)

「第5回こどもが描く“ふるさと坂井”絵画展」の入賞者表彰式が、みくに龍翔館で行われました。入賞者や保護者など約40人が出席。市長賞に輝いた川合本八さん(三国西小6年)に、市長が賞状と記念品を贈りました。女性がラッキョウを切る様子を描いた川合さんは「小さいときから絵が好きだった。市長賞に選ばれて嬉しい」と喜んでいました。



▲市長から賞状を受け取る川合さん

市長賞に輝いた作品▶

**吹** く秋風はさわやかに  
帯の幅ほどのまちは賑やかに 9月4日(日)

三国節を踊りながら町中を練り歩く「三国湊 帯のまち流し」。浴衣に身を包んだ踊り手、唄い手や三味線・笛の奏者など約600人が参加し、古い町並みや、



▲色とりどりの浴衣をまとい、出村周辺を優雅に踊り流す人たち

花街の面影を残す「出村」の細い路地などを優雅に踊り流しました。しなやかな「女踊り」に加え、力強い「男踊り」も初登場。参加者も見物客も、三国湊の粋な風情を心ゆくまで楽しんでいました。



▲藤田さんの「おはなし」を聞けば、大人も子どもも思わず笑顔に

**幼** 児教育の第一人者による  
笑顔に溢れた「おはなし会」 9月4日(日)

“おはなしおばさん”として全国で活躍する、幼児教育者の藤田浩子さんによる「おはなしおばさんの楽しいおはなし会」が、霞の郷で行われました。藤田さんは、歌遊びや手遊び、小道具などを交えながら、さまざまな楽しい話を披露。参加した親子ら約200人は皆、藤田さんの軽妙な口調に引き込まれ、終始笑い声が会場に響き渡っていました。



傾斜角30度にもなるバンクを、日が暮れるまでひたすら走りぬぐ。後走するのは、科学技術高校自転車部の生徒

## 「もがく」ことで得る 最上の達成感を求めて

※もがく……必死の力を振り絞って、選手が走る状態

**時** 速70キロにも達しようかというスピードで、競輪場のバンクを集団で駆け抜ける。一筋の流星となり、一心にペダルをこぎ、速さを追求。それが「春江工業高校自転車競技部」だ。

同部は昭和49年に発足。今年のインターハイでは4kmプリント競技で優勝に輝くなど、全国でも屈指の実力を持つ。

圧倒的な瞬発力とトップスピードを維持するスタミナで、個人競技を制覇した野原雅也さん(3年)。「がむしゃらに前を目指して走った結果、強い選手が集まる中、まさか優勝できる」と、実力とは裏腹に至って謙虚だ。「プ



▲自転車は体の一部。タイヤの空気圧を入念にチェック

ロに進み、一つでも多く勝てるようになりたい」と将来を見据える。

小学校から自転車競技を始めた、キャプテンの廣瀬元輝さん(2年)は、豊富な経験と確かな実力でチームを牽引



▲歯を喰いしぼり、「もがく」メンバー

「団体競技は、選手交代のタイミングが重要。自分ひとりの力では勝てず、チームワークの大切さを知った」と話す。輝かしい実績に比例するよう、練習量も高校随一だが、中梶秀則監督は「皆が『必ず入賞する』という強い気持ちで、我慢強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれている。それがチームで、我々強く練習に取り組んでくれない、若きアスリートたちだ。

### 春江工業高校自転車競技部



メンバー 10人  
代表 中梶 秀則さん(春江町大牧)  
コメント

「めざせ！全国大会入賞！」を合言葉に、練習は主に福井競輪場でスピード練習やインターバルトレーニング、時には一般道で長距離のロード練習などを行っています。」

「ふれんず」は坂井チャンネルでもご覧いただけます！  
今回の内容は、10/15(土)～11/14(月)まで放送します。  
お楽しみに！ ☎秘書広報課 ☎50-3012

## 後世に受け継がれる伝統の舞 日向神楽を奉納 9月17日(土)・18日(日)

丸岡藩主・有馬清純公が日向国(現在の宮崎県)から丸岡に移封された際に伝わった、県指定無形民俗文化財の「長畝日向神楽」が、丸岡町長畝地区の八幡神社で営まれました。世の安泰と五穀豊穡を願う神事で、神話「天の岩戸」を題材にした数々の舞を2日間に渡り奉納。保存会員が代わる代わる17の舞を披露し、会場は厳かな雰囲気に包まれていました。



▲今年新たに舞い手となった、高嶋洗佑さんと奥ノ矢瑛斗さん(ともに長畝小4年)による舞「散米」



▲うすを囲み、飛び跳ねながら米をかつ男衆たち

## 五穀豊穡と無病息災を願う 伝統の「表児の米」を奉納 9月17日(土)

県指定無形民俗文化財の「表児の米」が、丸岡町北横地の布久漏神社と表児の米研修会館で営まれました。鉢巻きに紺地の帯を締めた地元の氏子ら約130人が参集。男衆らが「米かち歌」に合わせリズム良くきねを振り、米をかち上げました。今年は5年に一度の大祭で、十郷用水に感謝するとともに新しい妙技も披露され、会場は熱気に包まれていました。

## 「働きたい」気持ちに定年なし 60歳以上の技能講習 9月27日(火)

市シルバー人材センターによる「ふすま・障子張り替え講習会」が春江中小企業センターで行われ、市内の60歳以上の男女14人が参加しました。講習会は、技能を新たに習得してもらい、会員の後継者育成のために実施しているもの。参加者は「大変だが、習うということはいくつになっても楽しい」と強い意欲を見せ、講師から真剣に学んでいました。



▲障子の木枠に合わせてきれいに紙をカットするコツを教わる参加者



▲「夕陽と人の絆でつなぐ地域づくり」をテーマに意見が交わされたパネルディスカッション

## “夕陽”と“絆”で地域づくりを 三国で全国サミットを開催 9月25日(日)

「第9回全国夕陽サミット」が三国観光ホテルで開催されました。夕日を生かした宿づくりなどに取り組んでいる「夕陽と語らいの宿ネットワーク」の関係者ら約40人が参加。三国高校教師の張籠二三枝さんの記念講演会や、地元の観光関係者ら5人によるパネルディスカッションが行われ、夕日を観光素材にした取り組みの紹介や意見交換が行われました。

まちの話題が満載の「フォーカス」は、市のホームページ(<http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/>)からもご覧いただけます。ホームページでは“ホット”な話題を随時公開。また、上記以外の話題も紹介しています。

## 公共施設のあり方に関する意見交換会を傍聴しませんか

●問い合わせ 行政経営課 ☎50-3016

各開催日の2日前までに、①名前②住所③傍聴を希望する会場を電話かメール、FAXで申し込み。市ホームページから、公共施設を通過した行政サービスのあるあり方について、地域協議会や区長会、まちづくり協議会との意見交換会を開催します。

当日は、市の考える施設のあり方や方向性についても提示します。意見交換会は傍聴できますが、事前の申し込みが必要です。

**申込方法**

### ■日程

	とき	ところ
丸岡	10月26日(水) 19:00~21:00	高椋公民館 3階大ホール
春江	11月8日(火) 19:00~21:00	春江中公民館 1階大ホール
坂井	11月10日(木) 19:00~21:00	市多目的研修集会施設 3階大ホール
三国	11月11日(金) 19:00~21:00	三国社会福祉センター 2階大会議室

☎ 66-4837  
✉ gyousei@city.fukui-sakai.jp

## 市民に開かれた議会を目指して「議会基本条例」を制定します

●問い合わせ 議会事務局 ☎50-3001

地方分権時代にふさわしい議会のあり方や基本理念を定める「議会基本条例」を制定するため、9月8(木)日に「議会改革特別委員会」を設置しました。

今年度中の制定を目指し、今後、市民の皆さんの意見を集約するための対話集会やパブリックコメントなどを

### ■今後の予定

11月下旬	市民と議員との対話集会(市内4会場で実施) テーマ「市民参加と市民との連携について」
1月	議会基本条例(素案)の提出
2月	パブリックコメントの実施
4月	「議会基本条例」制定

※詳細な日程は、広報紙などで随時お知らせします

市民に開かれた議会を目指し、市議会では議会改革を進めています。

実施してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



## 過去最大規模の市内婚活イベント!? 「クリスマス大作戦～聖なる夜に出逢わナイト～」 参加者を募集

●問い合わせ 総務課 ☎50-3010

とき	12月18日(日) 14:00~21:00
ところ	港のホテル (三国町テクノポート2-1-33)
内容	バスツアー、立食パーティー(予定)など 25歳~45歳の男女 ※男性は市内に在住または勤務する人に限ります
参加資格	男女各50人
募集人数	男性6,000円 女性4,000円
参加費	市役所・商工会に備え付けの申込用紙(各ホームページからダウンロード可)に必要事項を記入し、11月30日(水)必着で応募先へ持参またはFAX
応募方法	・総務課(坂井町下新庄1-1) ☎ 66-4837 ・市商工会(坂井町下新庄2-10-1) ☎ 67-7023
応募先	

※参加者には後日、参加費の支払方法や当日のスケジュールなど、詳細な案内をお送りします  
※内容について、変更する場合があります

◆これまでの実績◆  
7月に行った第1弾企画「バーベキューパーティー」には、男女合わせて44人の参加があり、そのうち3組のカップルが成立しました。

また、市商工会青年部が行ってきた過去の出会いの事業

では、カップル成立58組、結婚成立7組の実績があります。



## お越しく下さい 第6回市民文化祭

●問い合わせ 文化課 ☎50-3164

合開会式では、各地の芸術文化や伝統文化などが集まり、交流と融合を繰り広げる「文化の祭典」を楽しめます。ぜひお越しください。

**総合開会式**

とき 10月23日(日)12時30分  
ところ ハートピア春江 大ホール

市内4地区選抜による

### ■文化祭日程

	とき	ところ
坂井会場	10月29日(土)・30日(日)	坂井体育館など
三国会場	11月2日(水)・3日(木・祝)	三国体育館、三国社会福祉センター
春江会場	11月5日(土)・6日(日)	ハートピア春江、春江体育館
丸岡会場	11月26日(土)・27日(日)	高椋公民館

12団体の芸能発表、茶会、作品展など

## 第2回坂井市産業フェア 実行委員を募集します

●問い合わせ 観光産業課 ☎50-3153

応募資格	産業フェアの目的に賛同し、市内産業の振興やイベント運営に興味のある人
委嘱期間	11月~24年10月(約1年間) ※報酬はありません
募集人数	6人程度
主な役割	・実行委員会への参加(月1回程度) ・企画、運営など
応募方法	①氏名②住所③電話番号(平日昼間の連絡先)④FAX番号(あれば)⑤メールアドレス(あれば)⑥産業フェアについての意見・感想(様式自由)を明記し、郵送またはFAX、メールで下記まで
応募締切	10月24日(月)必着
応募先	観光産業課 (〒919-0592 坂井町下新庄1-1) ☎ 68-0440 ✉ kankou@city.fukui-sakai.jp

来秋の開催に向け、実行委員を一般公募します。

内産業のさらなる振興と地域文化の融合を目的に、昨年9月にハートピア春江で開催された好評だった「坂井市産業フェア」の2回目となる

## 財政健全化判断比率・資金不足比率はいずれも基準内

●問い合わせ 財政課 ☎50-3020

指標	健全化判断比率	
	各比率	早期健全化基準
実質赤字比率	—※1	12.30
連結実質赤字比率	—※2	17.30
実質公債費比率	14.4	25.0
将来負担比率	109.8	350

※1…一般会計などで赤字のため、「-」表示となります  
※2…市の会計全体で赤字のため、「-」表示となります

会計	資金不足比率	
	資金不足比率	経営健全化基準
公営企業会計	—	20.0
水道事業会計	—	
公共下水道事業会計	—	
農業集落排水事業会計	—	
病院事業会計	—	

※どの会計も資金不足が生じていないため、「-」表示となります

## 9月定例会 一般会計4億2,636万円を補正

●問い合わせ 議会事務局 ☎50-3001

議会定例会が9月8日(木)から27日(火)まで開かれました。一般会計補正予算案など7議案、議員発議3件が可決されました。

そのほか、市土地開発公社の経営状況など11件の報告が受理され、22年度各会計の決算認定8件が決算特別委員会に付託されました。

9月補正予算 ( )内は補正後の額 ※千円以下は四捨五入	
一般会計	4億2,636万円 (337億4,023万円)
特別会計	補正なし (87億8,696万円)
企業会計	補正なし (106億9,678万円)
合計	4億2,636万円 (532億2,397万円)

▽地域支え合い体制づくり事業 2,431万円  
▽春江坂井学校給食センター建設事業 5,851万円  
▽旅食開発プロジェクト支援事業 200万円

主な補正予算

自治体全体の財政状況を判断するための4つの比率と、公営企業ごとに算定する比率を毎年公表しています。坂井市の22年度決算に基づく指標は、いずれも基準内でした。





## 24年度 保育所・幼保園の 入所申し込みを受け付けます

● 問い合わせ 子育て支援課 ☎50-3042  
または各総合支所福祉課  
(三国) ☎82-8903 (丸岡) ☎68-0805 (春江) ☎51-9404

### 保育所・幼保園一覧表 (平成24年4月予定)

地区	公 私	保育所名	所在地	電話番号	受入年齢	開 所 時 間			
						平 日		土 曜 日	
						通常	延長 (通常開所後1時間)	通常	延長 (通常開所後1時間)
三国	公立※1	みくに未来保育所	三国町神明1-5-46	☎81-2373	8週～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	○
		宿保育所	三国町宿2-3-45	☎82-0049	10カ月～	7:00～18:00	○	※保育の場所は みくに未来保育所	
		安島保育所	三国町安島37-70	☎82-0094	10カ月～	7:00～18:00	○		
	私立	加戸保育所	三国町加戸34-30-1	☎82-0097	10カ月～	7:00～18:00	○		
		米納津保育所	三国町黒目18-18	☎81-3069	8週～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	—
		三国松涛保育園	三国町運動公園2-15-15	☎82-7369	8週～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	—
		三国ひかり保育園※2	三国町楽円53-3	☎86-1066	8週～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	○
丸岡	公立	霞幼保園(保育所)	丸岡町霞3-10-1	☎66-0848	1歳～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	○
		今福幼保園(保育所)	丸岡町今福13-7	☎66-1196	1歳～	7:00～18:00	○		
		安田幼保園(保育所)	丸岡町下安田19-9	☎66-0196	1歳～	7:00～18:00	○		
		磯部東幼保園(保育所)	丸岡町磯部福庄24-20	☎66-2417	1歳～	7:00～18:00	○		
		八ヶ幼保園(保育所)	丸岡町愛宕1	☎66-5525	5カ月～	7:00～18:00	○		
		鳴鹿幼保園 (保育所) (幼稚園)	丸岡町上金屋5-15	☎66-2757	5カ月～ 3歳～	7:00～18:00 8:00～13:30	○	—	—
		磯部西幼保園 (保育所・幼稚園)	丸岡町上安田7-3-1	☎66-7601	3歳～	※4 7:30～18:00 長時部保育 (保育所)	—	7:30～18:00 長時部保育 (保育所)	—
		高椋幼保園 (保育所・幼稚園)	丸岡町寅国2-13	☎67-4633	3歳～	8:00～13:30 短時部保育 (幼稚園)	—	※保育の場所は 今福幼保園 鳴鹿幼保園 磯部東幼保園 八ヶ幼保園	—
	平章幼保園 (保育所・幼稚園)	丸岡町霞町2-41	☎67-4644	3歳～	—	—	—	—	
	長畝幼保園 (保育所・幼稚園)	丸岡町松川2-130	☎67-4224	3歳～	—	—	—	—	
	私立	つぼみ保育園	丸岡町坪江9-11	☎66-2564	8週～	7:30～18:30	○	7:30～18:00	—
		もみじ保育園	丸岡町板倉45-9	☎67-6760	6カ月～	7:00～18:00	○	7:00～13:00	—
		まごころ保育園	丸岡町長崎8-5-3	☎68-0756	8週～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	○
		しろの子保育園	丸岡町本町4-60	☎68-0360	8週～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	○
春江		公立	春江南保育所	春江町江留上旭5-1	☎51-0315	8週～	7:00～18:00	○	7:00～18:00 ○ ※保育の場所は 春江東保育所 春江西保育所
			春江中保育所	春江町本堂5-42	☎51-0480	8週～	7:00～18:00	○	
	春江東保育所		春江町中筋高田11	☎51-2288	8週～	7:00～18:00	○		
	春江北保育所		春江町中庄11-2-3	☎51-9622	8週～	7:00～18:00	○		
	春江西保育所		春江町松木11-7	☎51-3046	8週～	7:00～18:00	○		
	春江保育所	春江町境26-15	☎51-4499	8週～	7:00～18:00	○			
私立	春江みどり保育園	春江町江留下宇和江9	☎51-0285	8週～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	○	
いと勢保育園	春江町江留下相田27-1	☎51-2715	8週～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	○		
坂井	公立	坂井保育所	坂井町宮領57-32	☎66-5959	3歳～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	○
		坂井乳児保育所	坂井町宮領57-30	☎66-5004	8週～	7:00～18:00	○	※保育の場所は、坂井保育所	
	私立	大関保育園	坂井町大味27-14	☎72-1870	5カ月～	7:00～18:00	○	7:00～18:00	—
		すずらん保育園	坂井町高柳117-11-2	☎72-1244	8週～	7:00～18:00	○	7:00～13:00	—
		るんびに保育園	坂井町下兵庫56-4	☎72-0229	8週～	7:30～18:30	—	7:30～18:30	—

※1 24年度から、(公立) 三国南保育所・三国中央保育所・新保保育所は廃園になります(上表には記載されていません)  
 ※2 24年度から、三国町楽円53-3に(私立) 三国ひかり保育園が新設されます。詳しくは、社会福祉法人鷹巣福祉会(☎86-1066)までお問い合わせください  
 ※3 24年度中に高椋幼保園の耐震改修工事を行うため、その期間は、平章幼保園での合同保育になります  
 ※4 24年度から、(公立) 磯部西、高椋、平章、長畝幼保園、鳴鹿幼保園(幼稚園)は、3歳児(4月当初年齢)からの受け入れになります

# 来

年4月からの保育所・幼保園の入所申し込みを受け付けます。  
 出産や育児休暇明けの予定が分かっていく場合や、年度途中で  
 の入所を希望している場合にも、この申込期間中に必ず申し込  
 んでください。  
 保育所・幼保園は、地区を問わずどこでも入所できます。

**対 象**  
 0歳児から就学前の乳幼児で、  
 次の理由により家庭で保育ができ  
 ない場合  
 ① 父母や祖父母が就労している  
 (求職中も含む)  
 ② 出産の前夜  
 ③ 保護者が病気やけが、障がいがある  
 ④ 病気やけが、障がいのある家族  
 を介護している  
 ⑤ その他、家庭で保育ができない  
 特別な事情がある

※「下の子を保育するため」「集団  
 生活に慣れさせるため」「友達が  
 いないため」などの理由だけ  
 は、入所できません

**申 込 方 法**  
 子育て支援課または各総合支所  
 福祉課・保育所・子育て支援セン  
 ターにある入所申請書に必要事項  
 を記入し、下記の期間に申し込  
 んでください。

**受 付 期 間**  
 ▼平日受付  
 とき 11月1日(火)～18日(金)  
 8時30分～17時30分  
 ところ 子育て支援課または各  
 総合支所福祉課・各保  
 育所・幼保園

▼休日受付  
 とき 11月13日(日)  
 9時～16時  
 ところ 子育て支援課

**持 参 物**  
 印鑑(スタンプ式ゴム印は不可)

**そ の 他**  
 定員などにより、希望の保育所・  
 園・幼保園に入所できない場合  
 があります。  
 子育て支援課や各総合支所・保  
 育所・子育て支援センターで、入  
 所に関する詳しい資料「坂井市の  
 保育所」を配付しています。申し  
 込み前に、必ず確認してください。

### ■丸岡地区の幼稚園(短時部保育)について

対象施設	磯部西幼保園、高椋幼保園、平章幼保園、 長畝幼保園、鳴鹿幼保園 ※所在地、連絡先は17ページ表参照
保育時間	8:00～13:30
預かり保育	実施しません
休園日	小学校の休業日と同じ (土、日、祝日、春休み、夏休み、冬休 みなど)
登降園に ついて	保護者による送迎 ※ただし、鳴鹿幼保園以外は申請に より5歳児のみ小学生との集団登 園を認めます
給食	完全給食
保育料など	保育料 4,500円 そのほか、給食費、教材費、絵本代 などが必要になります
問い合わせ先	丸岡総合支所福祉課 ☎68-0805

### 保育所・幼保園開放デーのお知らせ

保育所や幼保園では、開放デーを設けて  
 います。お子さんの入所前に体験利用して  
 みませんか。  
 予約の有無や時間帯など、保育所ごとに  
 利用形態が違います。事前に各保育所に  
 問い合わせからご利用ください。



地区		実施日
三国	公立保育所、三国松涛保育園	第2・4水曜日
	米納津保育所	第2・4金曜日
丸岡	公立保育所、まごころ保育園	毎週火曜日
	つぼみ保育園	毎週金曜日
	しろの子保育園	第1・3金曜日
	もみじ保育園	随時
春江	公立保育所、いと勢保育園	第1・3金曜日
	春江みどり保育園	第2・4木曜日
坂井	公立保育所、大関保育園、るんびに保育園	第2水曜日
	すずらん保育園	随時

※連絡先は17ページ表参照

Topics  
**トピックス**

まちの話題をお届けします。

沿線の景観を美しく

9月4日(日)

えちぜん鉄道沿いの景観を保全しようと、三国ロータリークラブは沿線の除草作業を行いました。同クラブや沿線の加戸・公園台まちづくり協議会などから約200人が参加。三国芦原線の水居駅からあわら湯のまち駅(あわら市)まで、約1.8kmの区間に生い茂るセイタカアワダチソウなどの雑草を、1時間ほどをかけて根こそぎ取り除きました。除草後にはナバナの種をまき、春にはきれいな花が咲き誇ります。



▲雨の中でも熱心に作業する地元住民

海外での支援活動を激励

9月14日(水)

青年海外協力隊として2年間海外へ派遣される岩田卓希代さん(丸岡町儀間)と袖恵理佳さん(三国町錦)が、市役所で市長に抱負を語りました。岩田さんはマラウイでエイズ感染予防を啓発する映像制作の指導を、袖さんはエルサルバドルで理学療法士として負傷者などの社会復帰支援を行います。夢の実現を目前にした二人に、市長は「健康に気をつけて、今だからできることを頑張ってください」と激励しました。



▲市長に抱負を語る袖さん(左)と岩田さん

Hot Line  
ホットライン

24年度 放課後児童クラブの入会申込を受け付けます

●問い合わせ 子育て支援課 ☎50-3042  
または各総合支所福祉課

(三国)☎82-8903 (丸岡)☎68-0805 (春江)☎51-9404

放

課後、自宅に保護者のいない小学生低学年を対象に、市は放課後児童クラブを開設しています。24年4月1日からの入会と、長期休暇時の入会を同時に受け付けます。

対象児童

24年度に市内の小学校に通学する、保護者が仕事などで昼間家庭にいない、原則として1〜3年生の児童

開設時間

【通常】放課後〜18時  
【長期休暇時】8時〜18時  
※長期休暇時の早朝(7時30分から)と延長(18時30分まで)は、1回100円の追加料金になります

定員

クラブごとに異なります。子育て支援課または各総合支所福祉課に問い合わせください。

会費

毎月(月〜金曜日)	4,000円
長期休暇時	夏休み 10,000円
	冬休み 3,000円
	春休み 6,000円
土曜日	300円/回
一時預かり	500円/回

申込方法

子育て支援課または各総合支所福祉課、各児童クラブにある申込書に必要書類を添え、提出

申込期間

11月1日(火)〜18日(金)

審査・決定

1月に審査(家庭児童の状況など)を行い、承認の可否を通知

▼児童クラブ一覧

地区	クラブ名・開設場所	地区	クラブ名・開設場所
三国	・三国南(三国南幼稚園)	丸岡	・城北(城北児童館)
	・三国北(三国北小学校)		・春江もも・さくら(春江小学校)
	・雄島(雄島幼稚園)		・春江西すみれ(春江西小学校)
	・加戸(加戸幼稚園)		・春江西あじさい(春江西公民館)
	・三国西(三国西幼稚園)		・大石ゆり(大石公民館)
丸岡	・鳴鹿(鳴鹿小学校)	春江	・春江東ひまわり(春江東小学校)
	・新九頭竜(新九頭竜児童館)		・東十郷なかよし(坂井児童センター)
	・磯部第一・第二・第三(磯部小学校)		・大関にここ(大関児童館)
	・明章(明章小学校)		・兵庫のびのび(兵庫児童館)
	・西瓜屋(西瓜屋児童館)		・東十郷きらきら(東十郷小学校)
	・高椋第一・第二(高椋小学校)		・木部はっぴー(坂井木部児童館)
	・平章(平章小学校)		※長期休暇時のみ
	・長畝(長畝幼稚園)		

※定員により、入会できない場合あり

上記の児童クラブ以外に、民間の児童クラブもあります。詳しくは各クラブまで。  
【丸岡町】つばみ ☎66-2564、まごころ ☎68-0756、しろの子 ☎68-0360  
【春江町】いと勢 ☎51-2715、子どもジャングル ☎090-2017-7267



幼稚園の入園申し込みを受け付けます

●問い合わせ 学校教育課 ☎50-3161

来

年4月からの幼稚園の申し込みを受け付けます。通学区は設けません。地区を問わず、どの幼稚園でも入園できます。ただし、小学校への入学は、お住まいの校区の小学校となりますのでご注意ください。

申込方法

各幼稚園にある「入園願」に必要事項を記入し、期間内に申し込んでください。

預かり保育について  
4歳児以上を預かります。三国町・坂井町内幼稚園は15時まで、春江町内幼稚園は16時まで。

休園について

小学校の休校日と同じ(土・日・祝日、春休み、夏休み、冬休みなど)

登降園について

保護者による送迎

※ただし、申請により、5歳児は登園のみ小学生との集団登園を認めます

給食について

完全給食

保育料など

・保育料

月額4,500円

預かり保育料

15時まで 無料

16時まで 月額2,000円

※その他、給食費や教材費、絵本代などが必要になります

幼稚園について

受入年齢

幼稚園により異なります。

下表をご覧ください。

保育時間

8時〜13時30分

(私立)緑幼稚園の入所申し込みを受け付けます

募集人数

2歳児 15人

3歳児 10人

4・5歳児 若干名

受付期間 11月1日(火)〜14時〜17時

※土・日・祝日は除く

※定員になり次第締め切り

保育時間

8時30分〜17時

学校が春・夏・冬休み中も、預かり保育をします。詳しくはホームページをご覧ください。くか、お問い合わせください。

問い合わせ・申し込み先

緑幼稚園 ☎66-1194

丸岡町霞町1丁目5

☎midori-k@sky.plala.or.jp

☒midori-k-g@sky.plala.or.jp

☒http://www7.plala.or.jp/midori-k-g/

▼幼稚園一覧表

地区	幼稚園名	受入年齢	所在地	電話番号
三国	三国南幼稚園	4・5歳児	三国町南本町1-4-35	☎81-2910
	三国北幼稚園		三国町緑ヶ丘1-4-1	☎82-0159
	雄島幼稚園		三国町陣ヶ岡16-13-3	☎82-5245
	加戸幼稚園		三国町加戸33-7-1	☎82-4322
	三国西幼稚園		三国町新保42-2-7	☎82-1333
春江	春江幼稚園	5歳児	春江町江留下屋敷220	☎51-2372
	春江西幼稚園		春江町西太郎丸3-3	☎51-0152
	大石幼稚園		春江町上小森5-7-1	☎72-0030
	春江東幼稚園		春江町中筋29-1	☎58-5833
坂井	東十郷幼稚園	4・5歳児	坂井町長畑29-2	☎66-1144
	大関幼稚園	5歳児	坂井町東24-3	☎72-1922
	兵庫幼稚園		坂井町上兵庫65-5	☎72-2337

※受入年齢はそれぞれ24年4月1日での満年齢です

お知らせ

information

『消費者カクイズ』  
抽選でエコグッズを進呈

楽しみながら知識を深め、賢い消費生活を送りましょう。

■消費者カクイズ⑦■

Q.各契約とクーリング・オフできる期間の組み合わせとして正しいのはどれですか？

- A)電話勧誘販売での教材の購入契約=20日間
- イ)訪問販売での布団の購入契約=8日間
- ウ)キャッチセールスでの絵画購入契約=14日間
- エ)マルチ商法での化粧品購入契約=8日間

応募方法 はがきに①答え②郵便番号・住所③氏名④年齢を書いて下記へ送付  
応募先 市民生活課(〒919-0592 坂井町下新庄1-1)

応募締切 11月4日(金)  
市民生活課 ☎50-3030  
※9月号の答え…ウ

建物を壊したら  
届け出を忘れずに！

家屋またはその一部を取り壊した場合には、必ず「家屋滅失届」を提出してください。届け出により、翌年度からの固定資産税(家屋分)は課税されません。

店舗を住宅に変えたなど、家屋の用途変更をした場合にも、届け出が必要です。詳しくは、下記までお問い合わせください。  
提出先 課税課、各総合支所市民課

市民生活課 ☎50-3023

11月からコンビニで  
市税を納付できます

11月1日から、全国の主要コンビニエンスストアで市税の納付ができるようになります。利用するにはバーコード付きの専用納付書が必要です。

■コンビニで納付するには  
すでに届いている納付書では、コンビニで納付できません。専用の納付書に交換が必要です。

- ①11月1日以降、電話で納税課に連絡してください
  - ②納税課からコンビニ納付用の専用納付書を送ります
  - ③最寄りのコンビニで納期限までに納付してください
- ※すでに届いている納付書は、従来どおり指定金融機関や市役所の窓口で納付できます

■コンビニで納められる税金  
納期限が11月1日以降の市県民税(普通徴収分)、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税が対象です。

※11月以降の税額変更などによる随時分納付書から、コンビニ納付用の専用納付書を送ります

■取り扱いコンビニ

ファミリーマート、ローソン、サークルK、サンクス、セブンイレブン、ヤマザキデイリーストア、デイリーヤマザキ、エーエム・ピーエム、ミニストップ、エブリワン、くらしハウス、ココストア、コミュニティストア、スーパー北海道、スリーエイト、スリーエフ、生活彩家、セイコーマート、セーブオン、ダイエー、ハセガワストア、ポプラ、ヤマザキスペシャルパートナーショップ、MMK設置店(店頭に「公共料金収納取扱窓口」の表示がある店)

■注意事項

納期限を過ぎたものや納付書1枚あたり30万円を超えるもの、破損したものなどはコンビニで納付できません。

市民生活課 ☎50-3024

24年成人式を開催

とき 24年1月8日(日) 13:30～  
ところ ハートピア春江  
対象 平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人

新成人の皆さんへ

次の人には案内を送ります。  
・本市に住民登録または外国人登録している人  
・以前市内に住んでいた人で、本市の成人式に出席する連絡があった人  
※市外に住民票を移した人で、本市の成人式に出席する人は、「ふく e-ねっと」で電子申請をしてください

生涯学習スポーツ課 ☎50-3162  
http://www.city.fukui-sakai.lg.jp

浄化槽は正しく管理しましょう

浄化槽の所有者は河川などの水質保全のため、正しく排水処理しなければいけません。「薬品を流さない」「プロアの電源を抜かない」などを徹底してください。次の点にもご留意ください。

- ①保守点検  
県知事が登録した専門業者に委託して定期的に浄化槽の保守点検をしてください。
- ②清掃  
坂井地区環境衛生組合が許可した業者に委託して、定期的に浄化槽の清掃と汚泥の回収をしてください。
- ③法定検査  
県知事の指定検査機関が実施する水質検査を毎年受検してください。  
市民生活課 ☎50-3024  
環境衛生課 ☎73-0601

冬眠前のクマにご注意を！

秋は、クマが活発に行動する季節です。どこの山でもクマと遭遇する可能性があります。注意してください。

- クマと遭わないために  
・クマの餌になる実がなるところには行かない  
・鈴、笛、ラジオなどで大きな音を鳴らすか、大きめの声で話しながら歩く  
・視界の悪いとき、見通しの悪い場所には立ち入らない

- クマを引き寄せないために  
・墓参りのお供え、登山やキャンプ時のごみは持ち帰る  
・人家の近くのクリやカキは早めに収穫する

- クマに遭ってしまったら  
・騒がず、走らず、ゆっくり後退する  
・子グマに遭ったら、親グマが近くにいる可能性があるため速やかに立ち去る

丸岡総合支所地域振興課 ☎68-0801

まるおか図書館休館

冷暖房改修工事のため休館します。本の返却は、ブックポストか、みくに・はるえ・さかい図書館をご利用ください。

休館期間 10月31日(月)～11月25日(金)  
市民生活課 ☎67-1500

11月1日から狩猟が解禁  
山に入るときは注意を

県では、農林業や生活環境に被害を及ぼしている、増えすぎたシカとイノシシの捕獲を進めるため、狩猟期間を拡大します。

期間 11月1日～3月15日  
※11月1日～14日、2月16日～3月15日はわな猟のみ

期間中に山などに入る場合は、狩猟者にも分かるよう、目立つ色の服装を心掛けてください。わななどの仕掛けを見つけても絶対に近づかないでください。

市民生活課 ☎50-3030

10月1日から県最低賃金  
時間額684円

県内で働く全ての労働者とその使用者に対して適用されます。  
市民生活課 ☎22-2691

リサイクル

recycle information

ゆずります	ブランコ、和式キッチンテーブル(4人用)、ガスコンロ、レコード、中古の8畳のござ、げた箱、ベビーカー、乳児用チャイルドシート
ゆずってください	幼稚園児用自転車(男の子用)、小学校低学年用一輪車(男の子用)、幼児用三輪車(女の子用)、カラオケ道具一式、ワープロ、ベッド、双子用ベビーカー、ジュニアシート(座布団型)、戦前の布(ふとん地、ふろしき、着物、小布)、木製の大人用ベッド、二段ベッド、学習机のいす

申込方法 電話で下記まで  
※無償の品物のみ取り扱います  
※掲載期間は3カ月(自動継続はしません)  
※品物の細かい指定はできません  
※掲載品は掲載者が保管  
市民生活課 ☎50-3030

食卓に  
もう一品！ 食生活改善推進員の  
かんたん料理レシピ

ぼっかけ汁



春江地区食生活改善推進員

栄養成分/1人分	
エネルギー	94kcal
タンパク質	4.5g
脂質	6.0g
塩分	1.6g

材料/4人分	
ゴボウ	70g
ニンジン	50g
糸コンニャク	170g
中揚げ	90g
ネギ	50g
だし汁	650cc
しょうゆ	50cc
塩	少々

- 作り方
- ①ゴボウはささがきにして、酢水にしばらくつけてあくを抜く。ニンジンは細めの短冊に切る。
  - ②中揚げは油抜きをして、1cm角または細切りにする。
  - ③糸コンニャクは、水からゆでてザルにあげ、半分に切る。ネギは斜めに切る。
  - ④だし汁に、ゴボウ、ニンジン、揚げを入れ、10分ほど煮る。
  - ⑤糸コンニャクを入れ、一煮立ちしたら、しょうゆを入れ、塩で味を調える。
  - ⑥仕上げにネギを加える。お好みで、温かいご飯にかけて食べる。

ご存知ですか 市内に伝わる“あったかい味”

「ぼっかけ汁」は「ごぼう汁」とも呼ばれる市の伝統料理です。一度にたくさん作って、正月三が日に食べたり、結婚式に花嫁に食べてもらったりする風習があります。坂井平野で採れる食材で作った「ぼっかけ汁」は、これから寒くなる季節にぴったり。炊きたてのご飯にアツアツの「ぼっかけ汁」を「ぼっかけ」た古里の味で、身も心も温まりましょう。

健康長寿課 ☎50-3067

募集

invite information

男女共同参画推進講座に参加しませんか

■育児休業からの職場復帰準備セミナー

とき ①11月11日(金)  
②11月12日(土)  
いずれも10:00~11:30  
ところ ①坂井子育て支援センター  
②いねす  
内容 ①先輩ママや保健師、保育士などとの意見交換会  
②講演「パパとママ笑顔で仕事も子育ても」  
対象 市内に在住または勤務している人で、現在育児休業中か育児休業を検討している人

定員 20人(先着)  
参加費 無料  
申込方法 下記まで電話  
申込締切 10月28日(金)  
※②は夫婦で参加できます  
※無料の託児あります(要予約)  
■団塊世代夫婦のクオリティーアップセミナー

とき 11月22日(火)  
10:00~14:00  
ところ 春江女性の家  
内容 講演「セカンドステップもいい夫婦で」  
料理&トーク「夫婦で愉しむハートフルランチ」  
対象 市内在住の夫婦(一人でも可)  
参加費 無料(材料費別途必要)  
申込方法 下記まで電話  
申込締切 11月7日(月)  
☎まちづくり推進課☎50-3017  
男女共同参画センター☎51-3434

「歩いて健康アップ教室」で健康になろう

普段運動しない人、この教室をきっかけに体を動かしてみませんか。自分の姿勢や歩き方の「くせ」を知り、正しい姿勢での歩き方を体験できます。また、簡単な体力測定や骨密度の測定、健康ジュースの試飲もできます。  
とき 11月11日(金)、18日(金)の2回シリーズ  
9:00~11:00  
ところ 加戸公民館  
定員 20人(先着)  
参加費 無料  
準備物 内ズック、タオル、水分補給できるもの、  
申込方法 下記まで電話  
申込締切 11月9日(水)  
☎健康長寿課☎50-3040

ムツゴロウさんとおしゃべりしませんか

「いきもの環境フォーラム in さかい」にムツゴロウこと畑正憲さんがやります。  
  
ムツゴロウさんにいろんな体験談を聞いたり、質問したりできる絶好の機会です。ぜひ参加してください。  
とき 11月13日(日)13:00~  
ところ みくに文化未来館  
対象 小学4年生~中学3年生  
募集人数 10人程度(先着)  
参加費 無料  
申込方法 下記まで電話  
申込締切 10月21日(金)  
☎環境推進課☎50-3032

代官山墓地の使用者を受付中です

■使用許可の要件  
①三国町、あわら市のいずれかにお住まいの人  
②①に該当せず、三国町、あわら市のいずれかに本籍または墓地がある人

■申込方法  
①現場を訪れ、場所を決める  
②本籍記載の住民票、印鑑、使用料、維持費を問い合わせ先へ持参

■使用料と維持費

区画区分	4m <sup>2</sup> (2m×2m)	6m <sup>2</sup> (2m×3m)
使用料(永代)	172,000円	228,000円
維持費	31,000円	37,000円
残区画数	108区画	94区画

※使用許可の要件②に該当する人は、使用料・維持費が2割増  
※維持費は条例変更などにより再徴収する場合があります  
☎三国あわら斎苑組合事務局(あわら市役所市民生活部市民生活課内)☎73-8098

野球の基本を学ぼう ジュニアティーボール教室

ティー(台)に置いたボールをバットで打つ野球型ゲームです。  
とき 10月21日~11月25日の毎週金曜日  
18:30~19:30  
ところ 三国体育館第2競技場  
対象 小学1~3年生の男女  
※保護者は自由参加  
定員 20人  
受講料 6回3,000円  
準備物 内ズック、運動服、タオル、グローブなど  
申込方法 下記まで電話  
☎三国体育館☎82-4686

「脱・メタボ!」で健康な体に

毎回大好評の教室です。秋から体を動かしたいと考えている人に最適です。一緒に汗を流しませんか。  
とき 11月2日~12月28日の毎週水曜日  
10:00~11:00  
※11月23日(水・祝)は休み  
ところ 坂井体育館  
定員 20人  
受講料 1回 600円  
4回2,000円  
8回4,000円  
※払い戻しはありません  
準備物 内ズック、運動服、水分、タオルなど  
申込方法 下記まで電話  
☎坂井体育館☎68-0123

秋からの新教室「健康体操・シニアクラス」

ストレッチやウォーキング、リズム体操で、体に必要な筋力やバランス感覚などを楽しく身につけます。日常生活に運動を取り入れるきっかけづくりに最適です。  
とき 11月2日~毎週水曜日14:00~14:50  
ところ 春江体育館  
対象 50歳以上  
定員 15人  
受講料 4回2,000円  
※月初めに集金  
準備物 内ズック、運動服、水分、タオルなど  
申込方法 下記まで電話  
無料体験日(申し込み必要)  
10月26日(水)15:00~16:00  
☎春江体育館☎51-4242

シルバー人材センター会員を募集

新しい自分と、新しい仕事にチャレンジしてみませんか。特に除草などの屋外作業ができる人歓迎です。  
■会員になるには  
市内に居住し、健康で働く意欲のある60歳以上の人なら、どなたでも会員になれます。入会手続きと、説明会の参加が必要です。詳しくは、下記までお問い合わせください。  
■主な仕事  
・技能分野  
剪定、障子・襖の張り替えなど  
・軽作業分野  
清掃、除草、害虫駆除など  
・事務分野  
宛名書き、賞状の筆耕など  
※ほかにもさまざまな仕事があります  
☎市シルバー人材センター☎50-1350  
☎http://www.sjc.ne.jp/sakai/

交通誘導・施設警備講習受講者を募集

警備員として必要な関係法令や、施設警備、交通誘導などの実技を学び、資格取得を目指す講習です。受講は無料です。  
とき 11月24日(木)~12月9日(金)  
9:00~16:00  
※土、日曜日を除く  
ところ 春江中公民館  
対象 55歳以上でハローワークに求職登録した人  
定員 20人  
申込方法 下記まで電話  
☎福井県シルバー人材センター連合☎29-1195

野菜ほ場巡回ツアーに参加しませんか

「いねす市」に出荷されている野菜や生花などの農場を見学します。ミディトマトの収穫体験もあります。  
とき 11月5日(土)  
13:30~16:00  
ところ いねす  
※バスで農場を巡回  
定員 20人  
参加費 無料  
申込方法 下記まで電話  
☎いねす☎72-7600

「たのしい育児とママ友づくり」ベビーマッサージ短期講座

とき 10月25日~11月22日の毎週火曜日  
10:30~11:30  
※11月1日(火)は休み  
ところ 高椋西部公民館  
対象 生後3カ月~8カ月の乳児とその保護者  
定員 10人  
参加費 4,000円(資料、専用マッサージオイル代込み)  
申込方法 下記まで電話  
☎高椋西部公民館☎66-0047

自衛隊高等工科学校生徒を募集

試験日	推薦	24年1月7日(土)~9日(月・祝)のうち1日
	一般	24年1月14日(土)
受付期間	推薦	11月1日(火)~12月16日(金)
	一般	11月1日(火)~24年1月6日(金)

※応募資格など詳しくは下記まで  
☎自衛隊福井募集案内所☎24-3702

**開催**  
event information

**“暮らしの行政相談所”  
要望や苦情をお聞きします**

行政に対する要望や苦情、困っていることを、行政相談員がお聞きします。

と き 10月25日(火)  
13:30~15:00

ところ イーザ  
☎秘書広報課 ☎50-3012

**図書館の古本・古雑誌市**

と き	ところ	内 容
10月22日(土) 9:30~18:30	みくに図書館	・古雑誌 (一冊20円)
10月23日(日) 9:30~12:00		・古本 (一冊50円)
10月30日(日) 9:30~15:00	まるおか図書館	・古雑誌 (一冊20円)

☎みくに図書館 ☎81-2900  
まるおか図書館 ☎67-1500

**歴史学者・小葉田淳  
記念文庫講演会**

と き 10月23日(日)  
13:30~15:00

ところ 霞の郷  
演 題 維新期の坂井市について  
講 師 県文書館古文書調査専門員  
吉田 健氏

☎まるおか図書館 ☎67-1500

**楽しい人形劇と腹話術  
「風工場のわいわい劇場」**

親子で一緒に楽しみませんか。

と き 10月29日(土)13:30~  
ところ みくに図書館

内 容 「イヌくんとぼいとこせ」  
ほか1話

参加費 無料  
☎みくに図書館 ☎81-2900

**“売れっ子絵本作家”が  
春江にやってくる!**

人気の絵本作家、長谷川義史さんによる絵本ライブです。

と き 11月12日(土)  
10:30~12:00

ところ ハートピア春江  
参加費 無料(整理券が必要)

定 員 200人(先着)  
申込方法 下記まで電話

☎はるえ図書館 ☎51-8810

**家事評論家  
吉沢久子さんの講演会**

いつの時代も前向きに生きる93歳。元気の秘訣を教えます。

と き 10月22日(土)14:00~  
ところ ハートピア春江

演 題 いくつになっても前向きに生きる

参加費 無料  
☎ハートピア春江 ☎51-8800

**介護者の交流会  
「のんびり喫茶」でほっと一息**

介護者同士、お茶を飲みながらリフレッシュしませんか。

と き 10月28日(金)  
10:00~12:00

ところ いちい荘  
参加費 100円

申込方法 下記まで電話  
申込締切 10月25日(火)

※便利な最新介護用品を紹介するミニ講座も開催

☎市社会福祉協議会はるえ支部  
☎51-4545

**秋感! ゆりの里「収穫祭」**

子どもから大人まで楽しめる、盛りだくさんの内容です。

と き 10月23日(日)9:00~  
ところ ゆりの里公園

9:00~16:00	ユリーム直売市
	ゆり球根販売
	花鉢市
	秋の俳句入選作品展示
	ちびっこ絵画展
11:00~	農業クイズ抽選会
	ゆり球根鉢植え体験
	ゆりっころどん無料振る舞い(先着200人)
12:00~	秋の音楽会
	秋の味覚プレゼント(先着50人)
12:00~16:00	秋のバラ園企画「バラのアフタヌーンティー」(200円)(先着100人)
	秋の寄せ植え教室(要予約)

☎ゆりの里公園 ☎58-0100

**普通救命講習会**

AED(自動体外式除細動器)の使用方法や心肺蘇生法などが学べる無料の講習会です。

と き 10月23日(日)  
9:00~12:00

ところ 嶺北芦原消防署  
(あわら市国影13-8)

対 象 本市やあわら市に在住、通勤または通学する中学生以上の人

定 員 30人

申込方法 電話、FAX、メール  
☎嶺北芦原消防署 ☎78-4119  
✉awara@reihoku-fd.jp

**林道ウォーク&  
親子野鳥観察会**

野鳥を観察しながら、刈安山の林道を一緒に歩きませんか。

と き 11月5日(土)  
8:30~13:10

ところ 刈安山森林自然公園  
※剣岳公民館集合  
(あわら市柵18-10)

定 員 140人(先着)  
※小学生以下は保護者同伴

参加費 50円  
申込方法 下記まで電話

申込締切 10月28日(金)  
☎林道ウォーク&親子野鳥観察会in  
剣ヶ岳線実行委員会 ☎84-8052  
(坂井農林総合事務所林業部内)

**職場での悩みごと  
無料相談会**

賃金、解雇などの悩みはありますか。秘密は厳守します。

と き 10月30日(日)  
13:30~16:30

ところ アオッサ6階研修室  
(福井市手寄1-4-1)

相談員 弁護士、労働組合役員、福井労働局担当官など  
☎県労働委員会事務局 ☎20-0597

**就労に関する  
無料出前相談会**

離職を余儀なくされた人のための相談会です。予約は不要です。

と き 11月8日(火)  
13:30~16:00

ところ 市役所三国総合支所  
☎県求職者支援センター  
☎30-0451

**「障害者110番」  
無料相談会**

障がい者の財産や人権問題、日常生活の相談に応じます。

と き 11月5日(土)  
13:00~15:00

ところ 三国社会福祉センター  
相談員 弁護士、身体障害者・知的障害者相談員など

☎県身体障害者福祉連合会  
☎27-1632

**認知症と家族支援講演会**

と き 11月3日(木・祝)  
14:00~16:00

ところ 県生活学習館  
(福井市下六条町14-1)

講 師 みのクリニック院長  
三野 善央氏

申込方法 下記まで電話  
申込締切 10月31日(月)

☎県立すこやかシルバー病院  
☎98-2700

**みんな笑顔になっちゃおう  
ハッピーハローウィン**

■スタンプラリー

仮装して三国町内のお店を回るスタンプラリーです。

と き 10月29日(土)  
14:00~16:00

ところ 三国公民館周辺  
対 象 小学生以下

スタンプラリーマップは1部500円。10月24日(月)~28日(金)に三国公民館で販売します。(限定100部)

■ハローウィンパーティー  
「あんた誰!? 2011」

200人の仮装集団と一緒に、パーティーに参加しませんか。

と き 10月29日(土)  
19:00~21:00

ところ 三国公民館駐車場  
☎みくに地区まちづくり協議会  
(三国公民館内) ☎82-6400

**花らっきよ祭を開催!!**  
11月5日(土)・6日(日) 営業時間 9:00~18:00  
・地元生産者による軽トララク市 ・花らっきよ特売  
・各種ステージイベント ・その他イベントが盛りだくさん!  
ぜひ、道の駅みくに・ふれあいパーク三里浜にお越しください!  
**道の駅みくに・ふれあいパーク三里浜**  
三国の海の幸、山の幸  
自慢したい特産物がいっぱい  
坂井市三国町山岸 67-3-1  
TEL. 82-3339 FAX. 82-7773  
ふれあいパーク三里浜

**七五三** 11月6日まで 前写し  
☆キャンペーン期間中☆  
等身大ポスタープレゼント!  
お値な割引プランもご利用してお待ちいたしております  
〒910-0246 0776-66-8505  
坂井市丸岡町西瓜屋2-18-5  
PHOTO STUDIO KOYO 写真の光陽

こちらは有料広告欄です

**11月6日(日) いねす秋の感謝祭 開催**  
農産物直売所「いねす市」 営業時間7:00~18:00  
坂井地域交流センター「いねす」 坂井地域交流センター「いねす」  
坂井市坂井町蔵垣内 34-14-1 指定管理者 株式会社アイビックス  
☎0776-72-7600 福井市下馬2丁目 101

**広告掲載を希望する事業者を大募集!**  
広報さかいと市ホームページの広告を募集しています。  
連続して掲載する場合には、特別割引もあります。  
市外事業者もOK! 事業者の皆さん、どしどしご応募ください。  
掲載料 広報さかい 1枠20,000円/回  
ホームページ(パナー) 1枠10,000円/月  
※詳細は、市ホームページか秘書広報課まで ☎50-3012

こちらは有料広告欄です



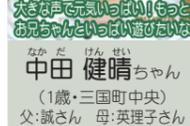
毎日元気いっぱい!!  
みんなの笑顔が大好き!

坂口 美月ちゃん  
(2歳・春江町東太郎丸)  
父:大介さん 母:佳世さん



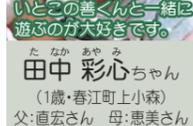
お歌が大好き!お手々  
パチパチでソリソリだよ!

今本 湊斗ちゃん  
(1歳・丸岡町新鳴鹿2丁目)  
父:徹さん 母:里枝さん



大きな声で元気いっぱい!もつと  
お兄ちゃんといっしょに遊ぼう!

中田 健晴ちゃん  
(1歳・三国町中央)  
父:誠さん 母:英理子さん



いとこの善くんと一緒に  
遊ぶのが大好きです。

田中 彩心ちゃん  
(1歳・春江町上小森)  
父:直宏さん 母:恵美さん

「今月のハッピーバースデー」掲載希望者を募集  
掲載月に誕生日を迎える3歳までの元気な  
子を募集します。希望する人は、写真にコメント、  
住所、氏名、年齢、両親の名前、電話番号を添えて、  
秘書広報課まで持参または郵送してください。  
締め切りは、掲載希望月の前月5日まで。希望  
者多数の場合は、掲載できない場合があります。  
詳しくはお問い合わせください。

「みんなの掲示板」掲載情報を募集  
催し、募集、個人やグループからのお知らせ  
などをお寄せください。ただし、全市民を対象  
にするものに限り、営利目的や政治・宗教に関  
するものを除きます。  
締め切りは、掲載希望月の前月5日まで  
※必ず実名でお寄せください。応募者多数の場  
合は先着順とします。  
秘書広報課 ☎50-3012

【今月の表紙】使わない方がいいけど...



今年ほど忘れる間もなく  
災害が起きる年はない。  
まるで、神様に試されて  
いるかのよう。自然の恵  
みに感謝しているか、災  
害への備えはあるか。使  
わなくて当たり前。転ぶ  
前に「杖」は持っておか  
ないと。2011年は意識を正  
す年なのかもしれない。  
(東十郷小学校にて)

名前	年齢	行政区	名前	年齢	行政区
三国町/ 滝田 勝利 66 つつじが丘	たかひら つた 90 今町	たかひら つた 90 今町	高比良 つた 90 今町	はせがわ 孝 87 羽崎	はせがわ 孝 87 羽崎
田邊 確次 96 竹松	なかば 英郎 81 文京	なかば 英郎 81 文京	中場 英郎 81 文京	もり たけし 99 内田	もり たけし 99 内田
川口 勇 95 浜滝谷	やまざき 義孝 90 上田町	やまざき 義孝 90 上田町	森 竹士 99 内田	あきくら マサ子 82 寄永	あきくら マサ子 82 寄永
前田 シゲヲ 93 梶	たなか 千代吉 80 上石城戸	たなか 千代吉 80 上石城戸	山崎 義孝 90 上田町	たなか 千代吉 80 上石城戸	たなか 千代吉 80 上石城戸
村中 高治 86 陣ヶ岡	しば たてる 85 新九頭竜1区	しば たてる 85 新九頭竜1区	朝倉 マサ子 82 寄永	しば たてる 85 新九頭竜1区	しば たてる 85 新九頭竜1区
松浦 キワ子 78 嵩	つじ川 はるゑ 91 小黒	つじ川 はるゑ 91 小黒	田中 千代吉 80 上石城戸	つじ川 はるゑ 91 小黒	つじ川 はるゑ 91 小黒
加藤 博 73 温泉	おおいし 信昭 63 上久米田	おおいし 信昭 63 上久米田	柴田 輝子 85 新九頭竜1区	おおいし 信昭 63 上久米田	おおいし 信昭 63 上久米田
大嶋 常子 80 池見	あき 菊栄 83 猪爪	あき 菊栄 83 猪爪	大嶋 常子 80 池見	あき 菊栄 83 猪爪	あき 菊栄 83 猪爪
伊藤 文子 71 西今市	かど タケヲ 89 室町	かど タケヲ 89 室町	伊藤 文子 71 西今市	かど タケヲ 89 室町	かど タケヲ 89 室町
矢部 哲雄 73 米ヶ脇	たなか 恒夫 81 一本田福所	たなか 恒夫 81 一本田福所	矢部 哲雄 73 米ヶ脇	たなか 恒夫 81 一本田福所	たなか 恒夫 81 一本田福所
春江町/ 辻川 壽美子 87 沖布目	坂井町/ 高倉 ふみ子 100 宮領				
高山 甚三郎 64 中筋三ツ屋	重森 邦夫 88 蛸				
小林 憲一 64 沖布目	水田 昭夫 66 新庄				
小林 澄江 78 松木	五十嵐 清 81 定旨				
川原 タツヲ 98 境上町	伊藤 松子 97 館				
田中 義一郎 73 いちい野中央	伊藤 富男 93 関中				
佐藤 初子 93 江留上中央	畑 つや子 97 長屋				
林 シズ子 70 京町	北島 馨 90 新庄				
柴原 喜美枝 70 石塚	黒川 衣子 79 高柳				
丸岡町/ 久保 サヨ子 85 上田町	関戸 正輝 83 朝日				
十佐近 石松 84 西里丸岡1区					

名前は全て人名漢字および常用漢字で表記しています。

市の  
すがた

人口	94,459人 (-26, -211人)
男	45,725人 (-34, -179人)
女	48,734人 (+8, -32人)
世帯数	29,815戸 (+17, +250戸)

9月1日現在  
※( )内は前月比、前年比

●総合ビル管理 ●警備保障 ●セレモニー

大切にしたいのは「ソートフル」(思いやり)です。

当宗出重管理ホール

ソートフル 春江	春江町随応寺24-25 ☎0776-58-0444
ソートフル 丸岡	丸岡町一本田中31-5-1 ☎0776-66-4441
ソートフル 芦原	あわら市二面34-13-1 ☎0776-77-4441
ソートフル 金津	あわら市自由が丘1-2-14 ☎0776-73-4441
ソートフル 三国	三国町宿48-12-1 ☎0776-81-8210

株式会社 法美社  
福井市里別新町505 ☎0776-27-0001

法美社 検索

「家族葬の家 新田塚」(株)静光社  
福井市新田塚2丁目34-35 ☎0776-30-6100

こちらは有料広告欄です

市民の活動を応援するコーナーです。

丸岡山野草会  
盆栽と山野草展

会員30人が大切に育てた盆栽とかわいい山野草を展示します。山野草のチャリティーバザーも行います。

とき 10月29日(土)、30日(日)  
10:00~17:00  
※30日(日)は16:00まで

ところ 霞の郷 1階ロビー

問 丸岡山野草会  
増澤 ☎66-0487

かすみが丘学園  
文化祭にお越しく下さい

「がんばりまショー〜たすけあいのわ〜」をテーマに開催します。

とき 11月13日(日)  
10:00~14:00

ところ かすみが丘学園  
かすみが丘更生寮  
(丸岡町女形谷59-17)

内容 ・ステージ発表  
・模擬店  
・即売会(手作りせつけんや手芸品など)  
・チャリティーバザー

ボランティアを募集中

模擬店販売の手伝いや利用者の付き添いなど、当日のボランティアを募集しています。

時間 9:00~15:00

申込方法 下記まで電話

申込締切 11月1日(火)

問 かすみが丘学園  
本多 ☎66-1272

第45回丸岡菊花展を  
開催

丸岡菊花会の会員が丹精を込めて育てた作品を展示します。

とき 10月30日(日)~  
11月3日(木・祝)  
8:00~20:00

ところ 丸岡体育館駐車場

内容 六鉢花壇、三鉢花壇、  
単鉢、ダルマ三鉢花壇、  
福助作りなど

問 丸岡菊花会  
矢部 ☎66-5213

市民文化祭将棋大会に  
参加しませんか

どなたでも参加できます。

とき 10月30日(日)  
9:00から受付

ところ 坂井老人福祉センター

参加費 一般1,500円  
学生700円

部門 ・A級、B級の2階級  
・小学生低学年の部  
・小学生高学年の部

問 市将棋連盟坂井支部  
坂本 ☎090-9767-2633

高齢者学級  
盆栽展示会を開催

手塩にかけた盆栽を展示します。ぜひお越しく下さい。

とき 10月22日(土)、23日(日)  
9:00~17:00  
※23日は16:00まで

ところ 霞の郷 ホール

問 谷川 ☎66-7073

第2回ゆめのたまごの  
音楽会

打楽器、ギター、笛、スティールパンの楽しいコンサートです。みんなで歌ったり踊ったりして、楽しいひとときを過ごしませんか。

とき 10月29日(土)  
14:30~

ところ いねす

参加費 500円

ゆめのたまごプロジェクト

障がいがあることにより、いろいろなことが制限されてしまう子どもたちとその家族はもちろん、全ての子どもたちの夢をかなえるため、さまざまな企画をしていく団体です。

問 ゆめのたまごプロジェクト  
松本 ☎090-5170-0464

第34回全国小中学生かるた  
競技選手権福井大会

練習の成果を発揮してみませんか。上位入賞者は全国大会に出場できます。

とき 11月6日(日)9:00~

ところ 三国社会福祉センター

参加費 1,200円

申込方法 任意の用紙に学校名、  
学年、氏名(ふりがな)、  
責任者の住所、氏名、  
電話番号を記載して  
下記までFAX

申込締切 10月28日(金)

問 市かるた協会事務局  
針谷 ☎82-4033

「うちは財産が少ないから相続なんて関係ないわ?」  
なんて思っていないですか...?

相続は早めの早めの準備が万一の際に慌てない秘訣です。

☑ 身内に万一のことがあった時、まず何から手をつけたら良いのだろうか?  
☑ そもそも相続手続って、一体何をすれば良いのだろうか?  
☑ 家や財産を引継ぐ場合、円満に分けるにはどうすれば良いのだろうか?  
☑ 身内でもめないために、今からできることはあるのだろうか?

福井相続サポートセンター 福井県福井市西開発1丁目2503番地1  
Tel:0776-57-2370 / Fax:0776-57-2380

0120-57-2370 福井相続サポートセンター 検索

電話受付:平日 9:00~18:00 http://www.souzoku-fukui.com/

宿泊体験実施中

地熱利用住宅  
「ちねっちゃん」を  
採用した、新・モデル  
ハウス「心らい」  
にて宿泊体験が  
できます。

詳しくはお気軽にお問合せください。

松栄ホーム Tel 0776-51-0739 松栄建設 検索

こちらは有料広告欄です



①松尾芭蕉が知人の温かいもてなしを受けた際に、「光秀の妻が自分の黒髪を売って金を工面して光秀を助けた」という逸話を思い出し、詠んだのが「月さびよ 明智が妻の はなしせむ」という句②丸岡町長崎にある称念寺③「明智軍記」巻1(岐阜県図書館蔵)④「北海舟路ノ事付根拳松ノ事」に光秀が三国湊や雄島を遊覧したことが書かれている。

坂井市にゆかりの深い

戦国武将「明智光秀」

**明** 智光秀という人物を知っていますか。織田信長に仕え活躍しましたが、天正10年6月、京都の本能寺で信長を討った後、豊臣秀吉に敗れた武将です。

**光** 秀は信長に仕える前、丸岡町長崎の時宗・称念寺門前に住んでいたといわれています。光秀の一生を記した江戸時代の文献『明智軍記』によると、越前の大名朝倉義景に仕え、称念寺の寺地に妻子を住まわせ、僧と親しく交流し、三国湊や雄島を遊覧したことが記されています。しかしこれらは、光秀の伝記という物語上のものでした。

**と**ころが、時宗の同念といふ僧が、東海、関西各地を遊行したときの史料「遊行三十一祖京畿御修行記」の中には次のような一文があります。  
明智十兵衛尉といひて、濃州土岐一家宰人たりしか、越前朝倉義景頼被申

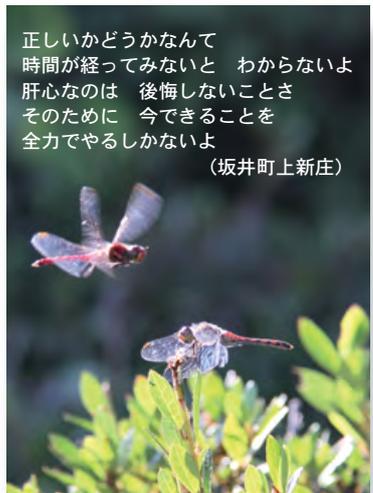
長崎称念寺門前に十ヶ年居住故念珠にて、六寮旧情甚に付て坂本暫留被申

**光** 秀が浪人のとき、越前の朝倉義景を頼り、十年間、称念寺の門前に住んでいた。そのときの旧情を温めるべく、(光秀は自分の居城である坂本城に僧を留めた)ということが記されているのです。物語上の話ではなく、確かに光秀が称念寺門前に居住していたことが分かります。

**四** 五〇年前、現在と同じ市の自然風景を光秀は見ていたでしょう。この美しい風景を見ながら、光秀は夢と野望を胸に抱いていたのかも知れません。

みくに龍翔館では、10月29日(土)から11月27日(日)まで、明智光秀をはじめ、市と縁のある戦国武将らの資料を展示する特別展「天下人の時代と坂井―戦国武将の息吹と足跡―」を開催します。ぜひ、お越しください。

純な旅



正しいかどうかなんて時間が経ってみないとわからないよ  
肝心なのは 後悔しないことさ  
そのために 今できることを  
全力でやるしかないよ  
(坂井町上新庄)

編集後記  
▼自転車競技は人力での最速スポーツだそう。最速目指し、選手たちが「もがく」さまを見て、高校の自転車通学時、遅刻しまいと強風の日や坂道などで「あがいて」たのを思い出しました。(杉)

▼初めて「表児の米」を取材。床を踏み鳴らす振動が胸に響く「おたしより」、軽快なリズムの妙技「米かち」。伝統を守り、後世へとつなぐ人たちの熱意と心意気に胸が熱くなりました。(充)  
▼凹面鏡みたいー初めて行った競輪場でバンクの傾斜にびっくり。30度つて図に描くと緩やかですが、実際に見上げると足がすくみます。スキーならいけるか!?!..なんて、私には無理です。(純)